

研究室名	食品分析学研究室、先端機器分析センター 論文発表
------	---------------------------------

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

発表時期	2020年
題名	農畜産物中の代謝物の分布解析への質量分析イメージングの応用
掲載雑誌	JMS Mycotoxins, 論文ID: 70-2-1, 2020. J-Stage (早期公開) DOI: https://doi.org/10.2520/myco.70-2-1
著者	榎元 廣文 帝京大・理工、帝京大・先端機器分析センター
概要	質量分析イメージング法は質量分析を検出基盤とした新しい分子イメージング手法であり、農畜産物中の代謝物の解析への応用が期待されている。本稿ではマトリックス支援レーザー脱離イオン化-質量分析イメージング法の概要、および近年、本食品分析学研究室で実施してきたイチゴ、豚肉およびインゲンマメ未熟種子中の代謝産物の分布解析について解説している。
関連画像	 <p>英文版のタイトル</p>